



黄金に染まった益城平野



益城町

議会だより

清水

せい すい

平成24年(2012) 9月定例議会 No.49

「ガンバレ、もうすぐゴール」 益城第二幼稚園運動会



学校自慢 益城中央小学校

P14

9月議会の賛否表

P13

広報研修記

組合議会からの報告

P12

常任委員会レポート

P10~P11

一般質問6名が登壇

P4~P9

平成23年度
一般会計決算など審議

P2~P3

●益城町保健福祉センター建設
請負契約等で臨時議会開く

9月 定例議会

一般会計決算歳出

96億8,113万3千円

前年度比 6,995万円増

平成24年第3回定例議会は、9月11日から会期8日間で開かれ、平成24年度補正予算6件、平成23年度決算認定9件、条例の一部改正3件、報告2件について審議を行い、可決・認定することに決定した。また、請願2件については不採択とした。総務常任委員会から提出された、山本山跡地の売買契約に関する資料請求は賛成少数で否決された。

福田地区乗合タクシー運行開始

福田地区デマンド型乗合タクシーが平成24年10月1日から運行を開始した。このことにより産交バス平田線（小谷―津森―平田―木山産交）は平成24年9月末で廃止となった。

福田地区のデマンド型タクシーは国と町による補助事業で、利用が低迷すれば廃止を含めた見直しが必要となってくる。

1運行当たりの利用者が2人以上を目標にしており、出来るかぎり誘い合って利用して頂くことを願っている。

利用の方法等について分からない方は、役場にお尋ねください。

益城町及び御船町中学校教育組合を解散

益城町福原（袴野地区）にある益城町及び御船町組合立袴野中学校が平成24年度を以て閉校することになった。

現在、中学校は0名小学校で7名の児童が学んでいる。来年度からはそれぞれの地域の学校に通うこととなる。

袴野中小学校の存続については相当の議論が交わされたが、学校のある場所が地滑り地帯でもあり、耐震に難があることから、存続はかなり難しいとの判断に至った。

閉校に伴い益城町及び御船町中学校教育組合を平成25年3月末で解散することになった。

一般会計決算の単年度収支の状況

一般会計の決算収支の状況は、歳入総額が103億2,887万4千円、歳出総額96億8,113万3千円で、歳入歳出差引額が6億4,774万1千円となっている。

翌年度への繰り越し財源が3億1,787万2千円あり、実質収支額は3億2,986万9千円になっている。また、単年度収支は3,451万1千円の赤字となっている。

請願2件不採択

「消費税増税に反対する意見書」の提出を求める請願と「熊本県へ子ども医療費完全無料化を中学期3年まで拡充することを求める意見書」提出に関する請願については賛成少数で不採択となった。

臨時議会

平成24年7月31日
平成24年10月5日

平成24年7月31日に役場庁舎耐震改修工事及び益城町保健福祉センター建設工事に伴う請負契約の締結について、また、10月5日には広安西小学校普通教室増築工事に伴う請負契約について審議し、いずれも賛成多数で可決・認定した。

役場庁舎耐震工事請負契約について、予定価格が7,956万9,000円で落札価格が7,770万円と落札率がかかなり高くなっているが、執行部としてこの数字を適正であると考えているのか。

予定価格より、186万9,000円は落ちている。一般競争入札に応札のあった各社が適正な工事、適正な単価で必要な金額を見積もった結果であり、適正であると思う。

今回の工事請負については、条件付き一般競争入札でおこなわれているが、条件の内容はどのようなになっているのか。

また、耐震工事は外フレーム工法による補強となっているが、工事の方法について詳しく聞きたい。

工事の内容を検討して、適切かつ確実に工事が履行できるように、条件を付けて一般競争入札を行った。

建築一式工事における経営事項検査の総合評価値が98.0点以上、会社の所在地が益城町または隣接する市町村に本店を有すること等々で、今回提示した点数では県内の建設工事において、「A1」の業者が対象となる。

外フレーム工法とは、庁舎南側の側面に壁を作り、その壁と庁舎の壁をつなぎ合わせて補強する工法である。

したものである。

負担金補助及び交付金の所で、繰越明許費4,500万円とあるがこれはなにか。

田原地区に建設予定の小規模多機能「たば」の介護基盤緊急整備特別補助金として計上している。

農業振興の中で、土作りと環境美化を図るためにレンゲ栽培促進事業をやったという報告書が出ている。現在、レンゲの種は高騰していると思うがこれに対する補助はどのくらいあるか。またどのくらいの面積でやっているのか。

レンゲの種子はかなり高騰しており、キロ当たり1,200円程になっている。町の助成は上限500円まで、助成金については2分の1で250円となっている。取り組んでいる農家が65戸、面積にして52ヘクタールとなっている。

ご意見番

下半期の保険給付費予想を下回る

平成24年度 補正予算を問う

本年度から国民健康保険税の値上げを行ったが、今回の補正を見ても来年度の再値上げは薄らいだと思いが、好転の原因は何か。

平成23年度の決算予想は、単年度収支2億6,400万円の赤字を予想していたが、実際の決算では300万円と赤字幅が減少したため、繰越金が3億9,000万円となった。

これは、平成23年度において保険給付費の伸びが低下したことにより、高額療養費の拠出が減少し、逆に共同事業交付金が増加したことが主な要因となっている。

介護基盤緊急整備等臨時特例交付金の申請は、施設から申請して町に下りてくるのか、それとも町が申請して

下りてきた時点で、町が施設を選んで交付するのか。

交付金の申請は県から町に下りてくる。町は対象事業所を下ろして、施設整備の希望があった事業所について交付金の申請を行うことになっている。

予防接種委託料として、2,214万4,000円が計上されているが、予防接種の内容と1回の料金、それから1回何人ぐらいを予定しているのか、また個人負担はあるのか。

ポリオワクチンを生ワクチンから副反応が軽減された不活化ワクチンに切り替えるもので、不活化ワクチンのみの接種は町内9,000円、町外10,200円、従来の3種混合に不活化ワクチンを加えた4種混合で接種する場合は、町内10,000円、町外11,200円で料金

平成23年度 一般会計・特別会計予算を伺う

住宅使用料について収納率の向上に努力はしていると思うが、収入未済額は2・6%増加している。23年度の収入未済額のなかで現年度と過年度がどのくらいあるのか。また収納率はどのようになっているのか。

現年度分未収額は

684万7,700円、過年度分は7,500万7,840円となっている。

収納率は現年度分が92・44%で平成20年度比5%増、過年度分は収納率5・98%であるが、収納額は右肩上がりで推移している。

国民健康保険特別会計については、昨年の12月議会でも、療養諸費と高額療養費合わせて、2億8,441万4,000円の追加補正を行った。ところが今回の決算で1億1,311万2,000円の不用額が出ているがその原因はどこにあるのか。

平成23年度の12月補正時点では、決算見込み額が予算現額を上回る状況にあったので、予算補正を行った。その後、年度後半に医療費の増加傾向が収まり、実支出額が見込額を予想以上に下回ったため、不用額が発生

一般質問



宮崎 金次議員

町民は町債（借金）の増加を心配している

町債（借金）の増加により公債費が町財政を圧迫しないよう努めたい

布田川～日奈久断層からの地震対策はどうか

今回の訓練を通じて町として、何を成すべきか、何が必要か理解できた

町債（借金）が増え
てきているのではな
いか

宮崎 本年度末の町債（借金）は約91億円と予想される。これは町民一人当たり25万円を超え、両親と子ども2人の標準家庭では100万円を超える町の借金を抱えている。さらに、今年度の公債費（借金返済）約7億9千万円のうち1億4千万円が利息返済金である。

臨時財政対策債の増加によるもの

町長 確かに平成21年度から比較すると、今年度末の町債残高は11億円ほど増加している。これは近年の臨時財政対策債（政府が認める町債）の増加によるものであり、平成22年度決算からすると町民一人当たりの町債残高は、熊本県内では一番少ない。今後も町債が町財政を圧迫しないよう努めたい。

予定されている事業とその
経費について

宮崎 今後、町として財政的な負担が予想される新規事業とその経費について問う。

予定事業として潮井公園整備事業などがある

町長 大日本スクリーンが工事に着手した場合の用地取得奨励金として3億円、広安西小学校増築工事に2億5千万円、5年かけて整備する潮井公園に4億5千万円、



来年3月末完成予定の益城町保健福祉センター

地域再生道路に3億6千万円、社会整備総合交付事業に1億5千万円、文化会館外壁工事に1億2千万円、その他小中学校・町営住宅の外壁工事が必要になると考えている。

町の震災対策上の問題点について

宮崎 本年9月3日に高遊原南消防署、陸上自衛隊、隊友会の支援を得て、布田川～日奈久断層による震度6クラスの地震が発生し、大きな被害が出ている状況で実施した防災訓練（町職員を対象）を通じて得た、町の問題点及び整備すべき事項について問う。

訓練により大きな成果

町長 関係機関の御協力を得て、益城町としては初めての震災対処訓練を実施し大きな成果を得ることができた。なお訓練後の研究会で被害情報を得るための組織、通信、備蓄、避難所の準備不足及び防災計画の不備など未だ不十分である。今後は、自主防災組織の育成・必要最小限の食糧・毛布等の備蓄・関係機関との定期的な連携を図る



布田川～日奈久断層から地震を想定した震災対処の図上訓練

ていきたい。

町の震災対策準備の加速を

宮崎 大震災などから町民の生命・財産を保護するための計画・準備を加速させる必要から、防災専門家を一時的に町の職員として補強すべきではないか。さらに大震災が発生した場合に対策本部等の職員を補強するため、臨時に自衛隊・警察・消防署等の退職者を活用するシステムを作っておくことが必要ではないか。

町職員の教育育成

町長 防災専門家などにより、町職員を教育してもらうことで、町の防災準備は出来るものと考えている。

一般質問



稲田 忠則議員

広安西小学校の駐車場不足をどう考えるか

現在ある調整池の跡地を利用出来ないか考えている

老朽化した益城町公民館のトイレの改修を

財政と相談しながら検討したい

駐車場不足の現状

稲田 広安西小学校は、児童数756名、保護者数550名である。学校行事の授業参観や、運動会の時、また、2力所ある放課後児童クラブの迎えなどで車の出入りが多く、駐車場探しに苦労されている。

検討はしているが

教育長 平成7年の開校時、現在使用している管理棟西側と、プール南側全域を駐車場として使用していたが、放課後児童クラブの建築、増築に伴い縮小された。

また、平成22年7月にグラウンドと駐車場用地を校舎の増築用地として購入して利用していたが、今回の増築工事の開始に伴い利用出来なくな

る。その対策を検討しているが、解決に至っていない状況である。



校庭内に駐車は無理（広安西小学校）

今後の改善策は

稲田 駐車場問題は以前から学校、PTA、保護者から強く要望が上がっていたが、その対策がとられず今日に至っている。早急に検討して頂き、解決に向けた措置を望む。

30台のスペース確保を予定

教育長 増築に伴う駐車場用地の確保の一つは、学校敷地北側とグラウンドと木山線の新設道路との間、二つ目は体育館の西側とプールの北側のスペース、三つ目は2期工事

老朽化の現状をどう
思う

町長 広安西小学校は今後も児童は増えると思うので、駐車場問題はいろいろ考え協議させていただきたい。

稲田 益城町公民館は、昭和46年に建設され、築41年となる。これまで多くの町民が利用し、利用度が高い施設と思うが、現在トイレは1階に2

力所、2階に1力所である。特に1階は和式でスペースも狭く、老朽化とともに使い勝手も悪く、時代に即応していないと思うが如何か。

改修の必要性はある

教育長 公民館講座の受講生を含めて、年間5万人の方が利用しているので、トイレの利用頻度も高いと思う。



利用者から不便との声（益城町公民館）

年齢層、トイレ事情の変化を踏まえ、現在のトイレを改修する必要性はあると思う。

トイレは町の顔

稲田 今後、講座やサークル活動の利用者が楽しく、気分よく過ごせるよう、女性用、男性用に区分し、スペースの広い洋式トイレに改良をしてはどうか。

和式を洋式に変える

教育長 まずやるならば和式を洋式に変えることだと思いが、相当な予算がかかるので財政と相談しながら検討していく。

町長 しっかりと研究し、できる所から教育委員会の考えに基づき取り組んでいきたい。

一般質問



石田 秀敏議員

益城町の南北格差について

石田 今年8月末の人口は、33、753人と聞いています。しかし、世帯人口ともに広安、木山校区に集中し他の校区は市街化調整区域のため、特に少子高齢化、過疎化が際立って進行中である。その様な状況の中、(株)イズミが益城町に大型複合商業施設を計画、25日には町と調印式が行われた。今後、町北部の発展は視界良好で最大の山場を迎えようとしている。

この南北格差問題に関しては、過去何人かの首長が格差是正を訴えてこられたが具体策は無に等しかった感じが強い。しかしここ近年、調整区域における集落内開発区域の設定や、定住促進住宅建設補助制度、また地域活性化対策家賃補助制度の創設に加え、保育、教育環境の充実も相まって、小学校周辺に民間企業による宅地分譲造成や、小さい子どもがいる世帯の新築転入も見られ、その施策に多少とも芽が出かかっている。しかし、飯野校区において

は国道443号が走っているものの、依然として様々な規制で開発が進まない状況である。

私は飯野校区の活性化は国道443号沿線開発が必要不可欠と思う。

そこで平成23年度に策定された第5次益城町総合計画書の前期基本計画の中に「新たな拠点の整備として、九州横断自動車道延岡線の小池・高山インターチェンジ(仮称)周辺を南の拠点と位置づけ、東九州との交通結節点として、新たな物流施設等の集積を関係法令との調整を図りながら検討して行く」と明記してあるが、物流施設だけでは無く他の企業誘致も含めどのような手法を考えているのか。

格差是正につくす

町長 現在建設中の九州横断自動車道延岡線の仮称小池・高山インターチェンジが、平成25年度供用開始に伴い、土山地区を南の拠点として物流施設等の集積を図るため、市街化調整区域における、流業務施設の指定路線の指定を県に要望しており、これにそって第5次益城町総合計画



市街化調整区域 国道443号と小池・高山インターを望む

を推進したい。それ以外の企業誘致については、農産物加工場もあと一息であり格差是正のためにも頑張っていく。

益城町の南北格差是正対策は

第5次益城町総合計画にそって推進したい



市街化区域 秋津川沿い

一般質問



江越 信保議員

防災・減災の観点からも早急に該当施設の把握を

江越 老朽化した道路・橋梁などは災害時には人命救助や災害物資の輸送に大きなダメージを与える。早急に該当施設の把握を行い、県などへの上申や町単独で整備するべきところは計画的に点検し、予防整備に努めるべきではないか。

橋梁長寿命化修繕計画に基づき管理につとめる

町長 本町が管理する道路、橋梁は現在102ある。15m以上の橋梁は32橋、老朽化の目安となる50年以上経過した橋梁は5橋、40年以上が3橋、30年以上が8橋である。今後通常点検、定期点検を強化し、国の社会資本整備総合交付金を活用し、橋梁長寿命化修繕計画を基に予防保全型の維持管理を実施し、経費の削減に努める。下水道に対しても橋梁と同様の方法で事業する必要がある。現在その準備を行なっている。



老朽化が進む橋梁

予防整備は費用は少なく経済効果は大である

江越 コンクリートの寿命は約50年、昭和30年頃に建設された社会資本は急速に老朽化し、多額の維持管理、更新費用を要する。未来の子ども達に負担をかけてはならない。全国の地方自治体が管理する道路橋梁は65万橋、今後50年の維持管理費用は約40兆7千億円。これを対処療法の後保全型から、予防保全型に切り替えると23兆3千億円(済み試算)になる。予防整備は経費が安く抑えられるだけでなく、景気低迷の現在、雇用を生み出す経済

効果もあると思うが如何か。

国の施策が決まり次第早急に取組む

町長 幹部職員会や課長会等を開いて、町政のあり方についてあらゆる面から検討をしている。国からこうした交付金等が出たら直ちに取組みたい。

胃がんの主な原因はピロリ菌、検査に助成を

江越 この菌を除菌することで、胃がんの予防に大きな成果が期待できる。少なくとも一次予防として胃検診時にピロリ菌の検査の推進と、助成金の検討を考えてはどうか。

国において検診のあり方が検討中であり、結果を踏まえて対応する

町長 特に50歳以上の年代では70〜80%が感染しているといわれる。感染すると胃がんになる危険性は5倍以上に高まるという結果が出ている。保菌の検査は容器に息を吹きかけるだけのものと、大腸がん検診キットによるものが



あるが除菌は保険適用外であり、全額自己負担である。検査については約3000円から5000円程度であるが、現在国の「がん検診のあり方に関する検討会」が検証中であり、結果を踏まえて対応する。

国も胃がんの原因はピロリ菌と認める

江越 除菌をどの様に行なうかが重要。これを行なうことが10年から20年以内には胃がんは撲滅するといわれている。わが町でも助成を早急に実施せよ。

常に町民のための対応が大事

町長 これを機会に認識を新たにした。町民のために、いかに対応していくかが大事であり、国の結果を見ながら取組む。

道路、橋梁等社会資本の予防整備に努めるべきでは

予防型の維持管理を実施し、橋梁等の長寿化を図る

胃の検診時にピロリ菌の検査も推進をせよ

国の「がん検診のあり方に関する検討会」の結果を踏まえて対応する



野田 祐士議員

木山交差点の渋滞をどう捉えているか

野田 去年の6月議会での一般質問でも行ったが、木山交差点の渋滞緩和をどう捉えているか。

憤りを感じる問題

町長 役場の目の前にあるメインの交差点が、これだけ渋滞をしているのは、憤りを感じている。

施策については？

野田 交差点改良については町単独での取り組みは難しいと考える。そこで、現在の取り組みについて伺う。

県議会議員とともに

町長 交差点改良については、毎年県に対して陳情をしてきている。県議会議員が誕生しているのも、県議会議員共々、今までもまして県に対して強く陳情している。



木山交差点

信号機の改良は？

野田 交差点の改修には莫大な予算が必要となるが、簡単な方法である信号機の変更（時差式や右矢印式）についての取り組みはどうか。

県警に対し現在陳情

町長 交差点改良への取り組みと併せて、現在信号機の変更についても、県に対し陳情を行っている。

また、県からは町に対して道路を引き取るような要望も来ているが、町としては、今後も引き続き強い形で県に対して交差点改良の陳情していく。議員方々においても常に声を上げ続けることが県を動かす力になるので、協力願いたい。

町有地を有効に活用していく考えはないか

野田 木山校区や広安校区はもとより津森、福田校区においては、日常の買物場所について苦慮しているが、どのように考えているか。

買物施設の誘致検討

町長 町内における買物施設の減少が町民の日常生活に与える影響を心配している。現在、工業の振興と雇用促進を目的として企業誘致を図っている。今後は買物施設の誘致も検討する必要があると考える。

る。住居系地区計画を定めることで一部を商業施設の建築が認められる。よって商業施設単独の立地は認められない状況にある。また商業施設の規模についても開発許可について明確でなく、積極的に商業施設を誘致するには大変難しい状況にある。

西高東低ではないか

野田 西地区（区画整理）にイズミ進出が決定した事は素晴らしいことであり、関係各位に敬意を表すが、これが町全体として西側のみの発展に繋がり、東側の発展が取り残されるのではないか。

常に問題点を把握

町長 常に問題点を把握し適宜、策を講じていかなければ前進はないと考える。



中央小学校跡地

中央小学校跡地利用 地区によっては高齢化や過疎化の進行が重要問題となっている。町有地を有効に活用して商業施設を誘致することにより、より良い地区の活性化が図れるのではないかと。

単独での立地は難しい

町長 商業施設については規制が複雑化し厳しい状況である。

商店の衰退に歯止めをかける具体的な施策は

甲斐 当町の小売商店数は減少傾向にある。商業の振興の基本方針で「賑わいのある商業機能の充実を図る」とあるが、衰退に歯止めがかかる具体的な施策を示せ。

支援の拡大をおこなっている

町長 益城には商店街と言われるものはない。町内の事業者の経営支援を図るために、債務保証、利子補給など事業拡大や経営の改善を促進するための支援の拡大をおこなっている。

「イズミ」の進出は小売店舗の打撃にならないか

甲斐 外部資本の参入は、町の資金流出を生み地場産業の衰退を招くとの指摘がある。企業誘致ありきの外部の力を頼るのではなく、地域の個性を見つけ、宝物、人材等を探出し、地域おこしを探り出していく事が大事ではないか。

町に大きな核が出来れば、既存の商店も生きていける

町長 町に一つの大きな核を

地域おこしを支える施策を



「イズミ」完成予想図

つくる事によって、地元も共存共栄できる。益城町で買物ができるという習慣をつけることで、既存の商店も生きていけると考えられる。

甲斐 町の西側に核となる店舗が出来て、既存商店が活性化するのが疑問。

地域おこしを支えるうえで、中小企業振興条例などを制定してはどうか。また、県道の歩道整備、空地、空店舗を利用して地元産品や加工品などの販売をおこなう、〇〇市などを頻繁に試みてはどうか。

区画整理事業を成功させたい

町長 区画整理事業を成功させたい。その思いでまず「イ

厳しい状況をどうクリアするか取り組んでいきたい

町長 交通渋滞が起これなければ店は成り立たない。県警等から、「第二空港線、小池龍田線には乗り入れするな、高速道路に一本穴を開けなさい」、などの厳しい指摘にどうクリアするか取り組んでいる。

65歳以上の高齢者にインフルエンザ予防接種の補助拡充を

甲斐 今のインフルエンザの接種率は40%前後である。予防接種の効果は2回接種で94%と言われている。インフルエンザが今春蔓延しなかつ

デマンド型乗合タクシーの利便性を図れ

甲斐 デマンド型乗合タクシーの運行を福田地区は今年の10月から開始するが、他の地区も早期に実現を図るべきではないか。運行時間、停車場など利便性を図り、幅広く利用できるよう改善してはどうか。町中にも巡回「小型車両」を導入して、高齢者・障害者の方たちの利便を図ってはどうか。

一つ一つ問題をとらえ、着実に取り組んでいきたい

町長 日頃、口先だけで「日本一住みやすい、暮らしやすい町」と言うだけでなく、一つ一つ問題をとらえて、着実に取り組んでいきたい。



甲斐 康之議員

商店街の活性化の具体的な施策を示せ。「イズミ」の進出は、既存商店の打撃にならないか

区画整理事業を成功させ「イズミ」を核とすれば、地元も共存共栄できる

インフルエンザ予防接種の補助拡充を

平成23年度調整会議で決定しており、補助の拡充は考えていない

デマンド型乗合タクシーは具体化したか、運行計画の拡充を

10月に福田地区から開始する。一つ一つ問題をとらえて取り組んでいきたい

木山交差点の渋滞緩和に向けた取り組みは

県議会議員とともに陳情 信号機改良も県警に陳情

地区の活性化と土地の有効利用にどう取り組むか

常に問題を把握し適宜取り組み前進する

9月議会 常任委員会レポート



広安町民第1グラウンド



保健福祉センター建設工事現場

区画整理事業は楽観できない、最後の詰めが大切である

建設 経済



グランメッセ木山線道路改良整備箇所 (宮園交差点)



保健福祉センター建設現場

建設・経済常任委員会では、付託された6議案について審査を行い、いずれも原案の通り全会一致で可決・認定した。

また、平成24年度一般会計補正予算では、津森校区下水道工事において、工事の品質を低下させないよう適切な指導の要望があった。また、決算認定では、公園整備や区画整

理事業の進捗状況について質問があり、順調に進んでいるところもあるが、全体的に課題が多く楽観はできない。最後の詰めが重要といった旨の説明があった。

現場視察では、保健福祉センター建設現場、集落内開発制度による開発行為箇所(下砥川)、グランメッセ木山線道路改良整備箇所(宮園交差点)の3箇所を視察した。このうち、保健福祉センター建設現場では、担当者から計画概要について説明を受け、開発行為箇所及び道路改良整備箇所については状況等について確認をおこなった。

9月議会 常任委員会レポート

総務

福田地区乗合タクシーの運行開始

総務常任委員会で、付託された9議案について審査を行い、原案のとおり可決した。

特に10月から開始される福田地区乗合タクシー運行業務委託と運行要領について質問があり、現在のバス路線を基本に考えて運行し、福田方面から木山バス営業所経由の惣領までとすること、乗り合い方式とすること、予約は1時間前までを設定していること、一日3往復を基準とするが利用者の有無によることなどの説明があった。

また広安町民第2グラウンドについては代替としての借用地であり、第1グラウンドが完成した後の契約について質問があり、3年後に延長するか否かを検討するとの説明があった。

国民健康保険の財政状況について

短期・中期・長期的な状況判断が必要となる

福祉



たんぼぼルーム (はがこどもクリニック内)



いこいの里 (特別養護老人ホーム)

福祉常任委員会で、付託された10議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決・認定することにした。

また、請願第2号については賛成少数で不採択とした。なお、議案第57号では担当課長から国民健康保険の財政状況について詳細な説明を受けた。

また、特別養護老人ホーム「いこいの里」

現場視察において、益城町保健福祉センター工事現場では、工事現場責任者から進捗状況について説明を受けた。病児・病後児保育室たんぼぼルームでは、担当者より現在の利用状況など詳細な説明を受け、安心して預けられる施設であることを確認した。

《7月31日臨時議会での議案への賛否の状況》

Table with 15 columns (議員名) and 2 rows (事件名: 工事請負契約の締結について (役場庁舎耐震工事), 工事請負契約の締結について (保健福祉センター新築工事)).

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 採：採択 不：不採択 可：可決 否：否決 棄：棄権

《9月議会での主な議案への賛否の状況》

Large table with 15 columns (議員名) and multiple rows (事件名) covering budget, regulations, and other items.

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 採：採択 不：不採択 可：可決 否：否決 棄：棄権

議会広報編集特別委員会

- 委員長 中村 健二
副委員長 坂田みはる
委員 江越 信保
委員 竹上 公也
委員 甲斐 康之
委員 野田 祐士

「清水」の編集にあっても更に改善をかさねながら... (文責 江越信保)
後集 川原のコスモスにささやきかけて通り過ぎる風にも、深まりゆく秋を感じる季節になりました。

組合議会から こんごちは!!

益城町及び御船町中小学校組合

平成25年3月31日をもって解散

九月議会は、袴野中小学校が平成25年3月31日をもって閉校となることに伴い、同日をもって、「益城町及び御船町中小学校組合」を解散する議案が上程され、可決された。

袴野小学校97年の歴史に幕



袴野小中学校

袴野小学校は、1915年(大正4年)、袴野中学校は、(昭和23年)開校された。開校当時の全校生徒は156名(小学校125名、中学校31名)であった。以後、多くの卒業生を輩出して来た。

最大の在校生徒数は、昭和36年の160名(小学生110名・中学生50名)であった。

閉校説明会では、学校存続を望む声もあったものの、過疎化と少子化により生徒数の増加が見込めないことから、今年度末で閉校となるものである。

校舎は、耐震性に弱く、体育館を除いて取り壊され、体育館は、益城町の所有となり、地元住民のコミュニティーの場として集会所などに有効活用される事になる。

高遊原南消防組合

副議長、監査委員を改選

組合議会は、7月20日定例会を開催し平成23年度一般会計決算の認定、及び平成24年度一般会計補正予算を可決した。

10月5日に臨時会を開催し、西原村議会の改選による組合議員の改選が行われ、副議長に林田直行議員(西原村)を選出し、監査委員には西口義充議員(西原村)が選任された。

広報委員会研修記

8月27日おりしも超大型台風15号が接近中、広報委員6名は、鹿児島県志布志市に向って強風の中を南下した。およそ2時間半で到着、笑顔で市職員の出迎えを受けた。

志布志市は、鹿児島県東部、大隅半島の付け根に位置し、平成18年1月、志布志町、松山町、有明町の3町合併により誕生、港と農業を中心に栄え、自然豊かな市である。人口3万3千、総面積290kmの広大さを誇る。

早速、市議会だよりを見せて頂いた。合併後にフルカラー印刷としたとの事であるが、全体の色使いが赤、青、黄色の淡い色を基本とした、目に優しく非常に落ち着いた感じである。

中に入れ込む写真は、淡い色とのコントラストが光りインパクトを与える。6年間の試行錯誤の苦労の結果が現在の色調に落ち着いたものであろう。

基本構成は、益城町の議会だより「清水」とあまり変わらないが細かな配慮は、目を



志布志市での研修風景

見張った。印刷業者との修正のやり取りはメールで行い、一般質問等の原稿の記載方法など徹底されており、大いに勉強させられた。車窓の外では樹木が折れんばかりに騒いでいた。

広報委員 竹上公也

皆で健康を考えよう

一番安上がりな健康法 ウォーキング

最近、早朝、夕方などいろいろな時間帯で、ウォーキングをしている人を見かけるようになりました。歩くことによって運動不足を解消し、生活習慣病の予防にも役立ち、ダイエット効果もある事などから随分と、ウォーキング人口が多くなつてきているような気がします。

だれでも気軽にできるスポーツがウォーキングです。これからウォーキングを始めようと思つている方は、時間帯はいつが良いのか、食前か食後か、朝が良いのか夜なのか、時間はどのくらい歩けば良いのかなど、いろいろな疑問があるかと思いますが、まずは歩き始めましょう。

最初は一回20分以上、週3回程度歩けば効果が

あるといわれています。歩く時間帯は食後2〜3時間経つた後か、食前でもバナナなど軽くエネルギーを補給した後で歩けば効果があるそうです。

早朝ウォーキングでは起きて1時間ぐらい経つてからが良いといわれていますが、起きて着替えなどをした20分ほど過ぎれば、そのあと準備運動をして歩けば大丈夫という人もいます。朝から空腹で歩くのは、血液中にブドウ糖がありませんが、最初から脂肪を燃焼させようとはまずり高くなります。ただし、糖尿病や高齢で持病のある方は空腹時のウォーキングは控えて下さい。

(中村)



益城中央小学校

新校舎落成から早いもので3年目となった益城中央小学校は、青田広がる田園の中にとつしりとその存在感をあらわします。

初秋の放課後、校舎のあちろちろからは子どもたちの元気な声と、響きわたる楽器の音色♪

広々とした階段を上ると、また更に広々としたフロアでアコーディオンを奏でる子どもたちの笑顔に会えました。

全校児童数633名の益城中央小学校では、坂本久美子先生率いる器楽部に、4年生が9名、5年生が5名、6年生が10名、総勢24名の女子が頑張っています。毎週火曜、木曜、金曜の4時半から6時までが活動時間です。4時半から30分はパート別に練習します。



演奏する楽しさ 満面の笑みから伝わります

アコーディオン、木琴、鉄琴、バスマスター、ピアノ、ティンパニー、ドラム、曲に合わせてみんなで挑戦します。選曲はすべて坂本先生です。そこには、先生のこだわりと、子どもたちに対するこんな思いがありました。



先生の指揮に合わせて集中

演奏を聴いて下さる方々から拍手をいただいた時、子どもたちが感動を味わうためにも、練習の中に充実感を味わうこと、本当の感動に繋がること、思い♪

系よりクラシック系に近く曲選びになるそうです。子どもたちは、毎月児童集会で練習の成果を披露します。

また今年は夏祭りでの演奏で達成感を味わい、10月30日には上益城郡小学校音楽会に出演、11月の中央小フエスタ、来年1月開催の熊本県合奏祭に向け練習に一生懸命です。

「し・み・せ・ら・ぶ・る」君の瞳に恋してる」ただいま練習中♪パート別の練習には倉田先生、園田先生、中山先生も指導してくださいませ。取材の協力をしてくれた部長の洲上さん、副部長の山本さんと黒木さん、部員の皆さん全員の明るい笑顔に感謝です。

(取材 坂田みほる)